

ヴッパータール大学 (Bergische Universität Wuppertal)

担当教員：バッハマイヤー

概要 (提携 2018 年～ 人数：定員 5 名)

＜所在地＞	Bergische Universität Wuppertal Gaußstraße 20, 42119 Wuppertal
ホームページ	http://www.uni-wuppertal.de/
＜沿革＞	1972 年設立。大学は、以前からこの地域にあった複数の専門学校を統合して作られた。人文学、経済学のほかにも自然科学、建築、工学やデザインを学ぶことができる。総学生数はおおよそ 20,000 名、そのうち留学生が約 10%を占める。ヴッパータールは、ドイツ西北デュッセルドルフ近郊に位置する人口 35 万人の中都市。山あいにあって坂が多い。世界最古の吊式モノレールで有名である。
＜特色＞	・授業は、大学付属語学センターで留学生向けのドイツ語コースで学ぶ。 ・ドイツ語専攻以外の学生は、英語で行われる学部授業にも参加できる。 ・学部の科目を履修することも可能。(希望すれば、ドイツ人のチューターをつけてもらえる。) ・ドイツ人との「タンデム・カフェ」が週に 1 回設けられている。 ・日系企業も多いデュッセルドルフから鉄道で 20 分と近い。デュッセルドルフで生活・仕事をしている麗澤の卒業生も多い。 ・留学開始までにドイツの生活環境に慣れるため、9 月および 3 月にドイツ各地で行われる事前研修に参加することを推奨する。(事前研修の費用と期間はプログラムによって異なる。費用概算：約 800€～1450€(講座費用+宿泊費+交通費))
＜学生寮＞	学生寮は 6 棟あり、キャンパス隣に位置している。大学までは徒歩 5～15 分、バスも使える。複数の個室とシャワー・キッチンを共有するユニットタイプの寮が基本だが、完全な個室もある。寮費は、月額約 350 ユーロで、インターネットが無料で使える。
＜生活＞	街が大きすぎず、小さすぎないので学生としては快適な生活ができる。現地担当者も親身になって面倒を見てくれる。困ったときに相談にのってくれるチューターもいる。日本人コミュニティがあるデュッセルドルフまで出かければ、本格的な日本食を食べることができる。 学食・カフェテリアは 9 店あり、定食は約 2～4€。
＜条件＞	・ドイツ語・ヨーロッパ文化専攻：ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) A1 レベルのドイツ語力があると認められること (検定試験の可否、授業成績などから総合的に判断する)。留学前に「ドイツ語基礎科目 (A 群) III または IV」を修了していること。 ・他専攻：留学時点でドイツ語 I、II を修得済みであること。留学前までにドイツ語 III あるいはドイツ語特別演習 A・B の履修を強く推奨する。これらの科目を履修していない場合は、プログラムの担当教員との面談が必要。TOEIC600 点以上。累計 GPA1.5 以上であること (英語 2 専攻)。
＜留学期間＞	原則として 2 年次秋学期から半年あるいは 1 年間、3 年次春学期から半年間。 * それ以外の時期／期間は相談に応じる。
＜奨学金制度＞	麗澤大学海外留学奨学金・日本学生支援機構

ドイツ語圏留学年間スケジュール

2024年 1年次～2年次

12月中		
1月 下	次年度ドイツ長期留学要説明会	留学提出書類 ・「留学願」 ・「誓約書」※必ず保証人自筆(提出用・保管用提出) ・「留学支援アンケート」 ・「留学目標シート」 ・「麗澤大学成績証明書(GPA付)」 ・「ドイツ語技能検定試験3級」、「ÖSD初級」、又は「Start Deutsch1」の結果通知票の写し(あれば) ・英語プログラムはTOEFL/TOEICのスコアコピー ・パスポート(写真のページ)のコピー ・留学奨学金申請書類(該当者のみ)
3月 下	留学希望先申請→ドイツ語専攻内で派遣先調整	
4月 中	冬学期留学先決定・発表→名簿提出	
	※4月末までに必ずパスポートを取得しておくこと	
4月 下	ドイツ夏季短期研修説明会(8月の語学研修)	
5月 上	留学手続き書類提出→国際交流センター	担当教員の指示に従い留学申込(Online手続き他) イエーナ大学・ハレ大学・ヴッパータール大学・マールブルク大学 *ハレの留学生は費用負担能力の証明書が必要。 日本でのビザ取得を推奨する。 ・留学説明会出欠連絡 (国際交流センター) *事前語学研修参加者は担当教員の指導でOnline登録。 入寮申し込み、費用振込。
中	短期語学研修書類提出期限「参加願」「誓約書」「パスポート」	
	事前語学研修資料配布	
	⇒「参加願」「誓約書」提出	
6月 上	各留学先手続き開始(入学申請書・寮申込)→	
	(保証人へ留学説明会案内配布)	
上	ドイツ渡航説明会(フライトについて)	
下	留学準備説明会(*海外留学保険と航空券の斡旋・申込)	
7月	(学生・保証人) →	
	留学先大学から入学許可証到着・配布	
8月 上	最終説明会	
	夏季語学研修出発	
	2024 ライプツィヒ	
9月	出発 (各事前研修受講者出発)	提出書類 ・「留学願」・「誓約書」・「成績証明書(GPA)」・「留学目標シート」 ・TOEFL/TOEIC SCOREコピー・「留学支援アンケート」
	2024 ドレスデン、ミュンスター	
9月下～	出発 (各大学冬学期留学出発)	
	各大学夏学期留学募集 →	
10月	留学先大学冬学期開始	・住所、TELを担当教員に通知 ・授業時間割を担当教員に送付
	夏学期書類提出×切 国際交流センター	・10月にゼミの申込みを麗澤大学のネット上で行う
11月	2025年夏学期留学手続き開始 →	担当教員の指示に従い留学申込(Online手続き他) イエーナ大学・ヴッパータール大学・ハレ大学 マールブルク大学・レーゲンスブルク大学
12月上	渡航説明会(*海外留学保険と航空券の斡旋・申込)	
2025年		
1月		
2月	夏学期留学最終説明会	・帰国後単位認定手続きを行う。下記書類を提出 ①成績証明書 ②単位認定申請願 ③留学報告書 (A4で2枚:2400字以上、ワードで作成。 適切なタイトルをつける。 ホームページ等に公開する場合もあるので、 一緒に掲載できる写真をjpgで添付する。)
	留学先大学冬学期終了 帰国(冬学期留学)	
	出発(事前研修/レーゲンスブルク) →	
3月	レーゲンスブルク大学インテンシブコース開始	
4月	出発(夏学期留学) 夏学期開始	
7月	留学先大学夏学期終了	・帰国後単位認定手続きを行う。下記書類を提出 ①成績証明書 ②単位認定申請願 ③留学報告書 (A4で2枚:2400字以上、ワードで作成。 適切なタイトルをつける。 ホームページ等に公開する場合もあるので、 一緒に掲載できる写真をjpgで添付する。)
	帰国(1年留学/夏学期留学)7～8月 →	
8月		
9月		

留学費用(概算)

1€ = 160

1) 留学先での費用	ユーロ(半年)	金額(半年)	金額(1年)	支払い方法
特別研修費: 300€(各学期)	300 €	¥48,000	¥96,000	現地で支払う
事前夏期語学講座(希望者)				約800€~1450€ 研修費+宿泊費+交通費
寮費(約350€×5ヶ月/×10ヶ月) *部屋によって異なる(NET接続料を含む)	1,750 €	¥280,000	¥560,000	クレジット、現金、口座引落しから選べる
寮の保証金(退寮時返還される)	400 €	¥64,000	¥64,000	(現地についてすぐ必要な費用として1000€程度を用意しておくのが望ましい)* 寮費2ヶ月分+保証金
学生証(交通共通券・生協費)	325 €	¥52,000	¥104,000	留学出発前に銀行送金する。
学生疾病保険代 (37€×5ヶ月、10ヶ月)1例	185 €	¥29,600	¥59,200	現地で支払う 学食・カフェテリアの定食: 2~4€
ビザ申請費(約110€)	110 €	¥17,600	¥17,600	
食費等(月3万円×5ヶ月/10ヶ月)		¥150,000	¥300,000	
合計①	3,070 €	¥641,200	¥1,200,800	
2) 渡航費用				
航空運賃(往復)		¥239,250	¥239,250	2024年10/1出発フランクフルト往復 *JAL日本航空の1例 各自旅行社に支払う
航空券発券手数料				
成田空港使用料				
国際観光旅客税				
空港税・航空保険料・燃油サーチャージ				
学研災付帯海外留学保険		¥38,370	¥81,370	学災付帯保険拡充プランの例
合計②		¥277,620	¥320,620	

留学費用概算 合計①+② ¥918,820 ¥1,521,420

3) 麗澤大学への納入金				
授業料		¥415,000	¥830,000	期日までに厩池学園経理課へ振込む。 (第1学期分3/31/第2学期分9/19)
施設費		¥150,000	¥300,000	
学友会費 1学期のみ納入			¥6,000	
後援会費			¥30,000	
合計③		¥565,000	¥1,166,000	

留学費用概算 合計①+②+③ (冬学期半年) ¥1,483,820 ¥2,687,420
(春学期半年) ¥1,519,820

ドイツ留学 留意事項

留学に際しての留意事項

留学前	・ パスポート、入学許可書、海外留学保険などの重要書類は必ず複数コピーをとり、別に保管する。保護者にも渡しておく。 ・ 写真（パスポートサイズ）を 4~5 枚程度持参する（何かと役に立つ）。 ・ 持病のある人は病歴、処方箋等を記した診断書(独文あるいは英文)を持参する。 ・ 常備薬は必ず持参する。コロナ感染をしたときも役立つ。留学前に歯医者にも行っておくこと。体温計もあると良い。 ・ 就職活動が気になる人は、キャリアセンターで留学中にできることを確認しておく。 ・ 「在留届」を留学先の総領事館に提出する。出発 90 日前から提出可能（2024.5.1～） ・ 「たびレジ」に登録する。
留学中	・ 新しい住所や携帯番号がわかったら、家族と国際交流センターに連絡する。 ・ メールは、常時確認し、返事を怠らないこと。 ・ 持病があり、ドイツで通院や薬の処方が必要となる学生は、到着後すぐに現地スタッフにその旨を伝えること。 ・ 留学中は現地レポートを学期に一度は必ず送ること。 ・ 外出の際、必ず身分証明書（学生証）を携行すること。 ・ 危機管理には充分留意し、旅行をする際は外務省のウェブサイト等で安全確認をする。 ・ 貴重品をスーツケースの中に入れない。大事なものの保管には鍵をかける。 ・ 車、バイクの運転及びバイクの同乗はしない。 ・ 2 年次後期で留学する場合、10 月中旬に留学先から「専門ゼミナール」の申込をする。 ・ 留学期間半ばが過ぎたら「留学目標シート」（留学中）を記入して送信すること。 ・ <u>開設した銀行口座は、帰国前に必ず解約手続きをする。Bahn Card も解約が必要。</u> ・ 空港、駅などで知らない人から荷物を受け取らない。 （ドラッグの運び屋になる危険がある。） ・ 帰国が近くなったら、お世話になった人々にお礼の挨拶をする。 ・ 帰国日・帰国便が決まったら国際交流センターにメールで連絡する。 ・ 帰国前に日本への入国条件、又は乗継地があれば、現地の入国条件をよく調べ、必要な場合、オンラインで事前登録をしておく。
帰国後	・ 国際交流センターに速やかに帰国報告のメールを出す。 ・ お世話になった方々にお礼のメールを出す。 ・ 単位互換に必要な書類を担当教員に提出する。 ・ 帰国後 2 週間以内に留学報告書（A4 で 2 枚 2400 字以上と写真）をワードで作成し、国際交流センターにメールで提出すること。 ・ 帰国後一ヶ月以内に「留学目標シート」（帰国後）を記入し、送信すること。